

全国安全週間に併せて 古河労働基準監督署長が安全パトロール！

令和元年7月3日

茨城県内における平成30年の労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、前年に比べ210人増加の3,120人、うち死亡者数は前年の19人から5人増加し24人と、前年と比べて死亡者数、死傷者数ともに増加という状況にあります。

古河労働基準監督署（署長 狩野 直美）は、全国安全週間に併せ、古河労働基準監督署長による安全パトロールを日野自動車株式会社古河工場で行いました。当工場は、関連会社を含め約三千人が勤務しており、2017年から本格稼働となった新規事業場であることから、安全衛生管理活動、労働災害防止対策等について確認を行い、より一層の労働災害防止対策の徹底を呼び掛けました。また、7月は、熱中症クールワークキャンペーン重点取組期間であることから、熱中症予防対策についても注意喚起しました。



労働災害防止対策を確認している古河署長



当事業場における安全衛生管理活動全般について確認

担当 古河労働基準監督署 Tel : 0280 (32) 3232